

2018 in名古屋

愛される学校づくりフォーラム

- 1 愛される学校づくり“公開”研究会
- 2 楽しく、手軽に授業改善をしよう

日時

平成30年2月24日(土)
10:00~16:20 (受付開始 9:30)

会場

東建ホール・丸の内
※地下鉄桜通線・鶴舞線「丸の内」駅下車1番出口より徒歩1分

定員

300名 ※定員になり次第締め切らせていただきます

対象

幼小中高等学校の教職員／大学等の教育関連の研究者／
教員を目指す大学(院)生／教育委員会等の教育行政担当者／
愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

参加費

3,000円 (資料代含む)

主催

愛される学校づくり研究会

申込み

ホームページから、または中面の＜参加申込書＞にご記入の上、
FAXにてお申込みください (2月9日締切) ※詳細は中面をご覧ください

主
な
登
壇
者

1 愛される学校づくり“公開”研究会

◆提案と協議



提案者
水谷 政名



提案者
山田 貞二



提案者
鈴木 正則



提案者
田中 雅也



●司会進行
玉置 崇

2 楽しく、手軽に授業改善をしよう

◆模擬授業 A

「授業アドバイスツール」を
活用した授業アドバイス



【小学校・社会】

授業者
玉置ゼミ生

◆模擬授業 B

「主体的、対話的、深い学び」
に視点をあてた授業検討



【小学校・算数】

授業者
和田 裕枝

◆模擬授業 C

「3+1授業検討法」での授業検討



【小学校・理科】

授業者
野木森 広

愛される学校づくり研究会は、
関わってくださるすべての皆さんから
愛される学校となるための
さまざまな研究を行うとともに、
会員の力量向上を図るための
研修、情報交換、発表をすることを
目的としています。

フォーラム 2018 in名古屋

たくさんの皆様のご参加を
お待ちしております。

<http://www.ai-school.jp/>

ごあいさつ

今年も多くの皆さんと“愛される学校づくり”について、ともに学び、ともに考えるフォーラム 2018 を開催いたします。「愛される学校づくり研究会」は、学校教育にかかわってくださるすべての皆さんから、愛される学校となるためのさまざまな研究、開発、実践等を行い、会員相互の力量向上を図るための研究、情報交換、発表を目的として活動しています。

私たちはその研究内容を皆さんに知っていただけるよう、平成 23 年から「愛される学校づくりフォーラム」を名古屋、東京、京都、大阪で開催してきました。今回は昨年を引き続き名古屋で、第 8 回目のフォーラムを開催する運びとなりました。

午前中は「新学習指導要領」をキーワードに、4つの視点から「愛される学校のつくり方」を提案します。今回の学習指導要領

をどう読み解き、どうマネジメントしていくのか、一緒に考えていきましょう。

午後は、「授業研究の成果があがっていない」「日常の授業改善が進まない」などの課題を踏まえ、私たち研究会が考えた授業改善の方法を提案します。

模擬授業を3つ行い、それぞれに目的の異なる検討方法を提案いたします。後半の模擬授業では、例年通り会場から抽選で児童役を選び参加していただきますので、授業を楽しみながら、授業改善について考えていきましょう。

会員一同、皆さんのお越しをお待ちしています。



会長 長谷川 濃里
(一宮市立大和西小学校)

1 愛される学校づくり“公開”研究会 10:00~11:30 / 12:45~13:10

● 趣旨説明 (10:00 ~ 10:15)

今年度の「愛される学校づくり研究会」では、新学習指導要領完全実施を前にして、学校などの教育機関で学習指導要領を理解するために活用していただけた資料づくりをすることにしました。そのため、次に示す4つのテーマを決めました。本日は、そのテーマごとにこれまで検討してきた事柄をさまざまな手法で紹介していきます。ぜひ楽しみながら、私たちの研究成果を見ていただき、そのまま学校でも活用していただけたら幸いです。



司会進行 玉置 崇
(岐阜聖徳学園大学/
授業と学び研究所)

● 提案と協議 (午前▶10:15 ~ 11:30) / (午後▶12:45 ~ 13:10)

◆テーマ1：ICT活用と新学習指導要領



水谷 政名
(江南市立古知野北小学校)

現学習指導要領には、あまり強調されなかった ICT 関連の言葉。新学習指導要領には、それらが頻出し、ついには「日常的に活用できるよう」とあります。どのレベルが「日常的」なのか、どうすると「日常的」になるのか。これからの 10 年を提案します。

1

(10:15~10:40)

◆テーマ2：学校経営と新学習指導要領



山田 貞二
(一宮市立浅井中学校)

「新しい学習指導要領が公示された」と聞き、各教科の内容や指導はどう変わるのかが気になりますね。でも、「なぜ変わるのか」「学校教育はどのような方向に向かっていくのか」という方向性はどのようにでしょうか。この基本理念と学校経営との関わりを会場参加型の提案で楽しく、しかも分かりやすく学んでいただきます。

2

(10:40~11:05)

◆テーマ3：学校と保護者・地域連携と新学習指導要領



鈴木 正則
(豊田市立猿投台中学校)

新学習指導要領で求められている「社会に開かれた教育課程」とは何をどうするのか悩むところです。新学習指導要領に基づいた学校と地域との連携について、学校が年度当初に行う保護者や地域の方を対象とした学校説明会の場を想定し、具体的な教育活動の例を通して提案します。

3

(11:05~11:30)

◆テーマ4：授業改善と新学習指導要領



田中 雅也
(春日井市立高森台中学校)

新学習指導要領での「どのように学ぶか」に大いに関係するのが「主体的・対話的で深い学び」による授業改善。でも、子どものどのような姿が表出されればよいのか、それをどう見取っていくのかななどの不安もあります。そんなときに参考となる考え方や指標を提案しながら、日常的な授業改善について皆さんと一緒に考えます。

4

(12:45~13:10)

※「テーマ3」と「テーマ4」の間に昼休憩 (11:30~12:45) があります。

12:30

↓

12:45

◆ 2020年代に向けた教育の情報化を考える

スマートスクール構想や都道府県単位での共同調達など、新しい取り組みが求められている統合型校務支援システム。国の動向、全国的な整備状況について、実際の事例を通じてこれからの校務支援システムの方向性をご紹介します。



日比野 智彦
(EDUCOM)

2 楽しく、手軽に授業改善をしよう

13:10~16:20

● 趣旨説明 (13:10 ~ 13:20)

「もっと授業を上手になりたい」「もっと授業改善を進めよう」という先生や学校に、これまで私たちが提案してきた授業検討法を、模擬授業を通してご覧いただけます。「主体的・対話的で深い学び」のある授業に向けての授業改善に生きるヒントが見つけれられると思います。

※当研究会ホームページ (<http://www.ai-school.jp/>) の教育コラム

「楽しく、手軽に授業改善をしよう」も参考にしてください。

※模擬授業の児童役を、当日ご来場の方から抽選により選出させていただきます。



小西 祥二
(Emication)

● 模擬授業 (13:20 ~ 16:10)

13:20

↓

14:10

模擬授業 A 小学校 ● 社会



◆ 授業者 ◆
岐阜聖徳学園大学
玉置ゼミ生



◆ コーディネーター ◆
神戸 和敏
(授業と学び研究所)

「授業アドバイスツール」を活用した授業アドバイス

授業改善が話題になっている今、日常の授業をどう改善していくと良いのかを動画や写真を使って具体的にアドバイスをすることが重要になってくると考えられます。授業を終えた授業者に対して、同僚、指導員、管理職がそれぞれの立場で、手軽に分かりやすくアドバイスする様子を紹介したいと思います。

※アドバイザー※ 玉置ゼミ生 / 古田弘樹

14:20

↓

15:10

模擬授業 B 小学校 ● 算数



◆ 授業者 ◆
和田 裕枝
(授業と学び研究所)



◆ コーディネーター ◆
石川 学
(小牧市立北里中学校)

「主体的、対話的、深い学び」に視点をあてた授業検討

新学習指導要領のキーワードの1つが「主体的・対話的で深い学び」です。しかし、主体的な学びとは、対話的な学びとは、深い学びとはと問われると、悩んでいる方は多いのではないのでしょうか。その問いに、3つのボタンを設定したアドバイスツール（授業検討モード）を利用した模擬授業の授業検討会で考えたいと思います。

※授業検討者※ 水野京子 / 犬塚章夫 / 小竹紀代子

15:20

↓

16:10

模擬授業 C 小学校 ● 理科



◆ 授業者 ◆
野木森 広
(岩倉市立岩倉中学校)



◆ コーディネーター ◆
大西 貞憲
(for next/授業と学び研究所)

「3 + 1 授業検討法」での授業検討

今年は、グループで授業のよいところを3つ、疑問点や改善点を1つ見つける、「3 + 1 授業検討」を参加者の皆さんに体験していただきます。今見た授業について考えたこと感じたことを話し合ってください、その後全体で共有して深めます。授業検討を活性化する手軽な方法を実感してください。

※授業検討者※ 近藤肖匡 / 永井直美 / 真山 恵

● 閉会・連絡事項 (16:10 ~ 16:20)

◆参加お申込みの流れ◆

- 1) ホームページから、または下記の＜参加申込書＞に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。(2月9日締切)
- 2) 申込受付後、「①入場券」「②払込票」をお送りします。お申込から2週間過ぎてもお手元に届かない場合は、事務局までご連絡ください。
- 3) 入場券到着後、同封の払込票にて代金をお支払いください(8日以内のお支払いをお願いしております)。払込票は、指定のコンビニエンスストア、ゆうちょ銀行または郵便局でお支払いいただけます。
※代金お支払い後のキャンセルは承っておりません。日程等十分で確認の上お申込みください。なお、ご入金後に参加できなくなった場合は、入場券を他の方に譲渡していただいても構いません。事務局までご連絡ください。
- 4) 払込票の受領証をもって、領収書に代えさせていただきます。別途領収書が必要な方は、当日受領証を受付にお持ちください。

●お申込みURL
<http://planexus.co.jp>

愛される学校づくりフォーラム2018 in 名古屋 ＜参加申込書＞

送付先・ご請求先	住所	〒 都道府県		(自宅・勤務先) ※○をお付けください
	勤務先	※勤務先を送付先にされる方はご記入ください		
	ふりがな 氏名	TEL.	FAX.	
メールアドレス	@			

※払込票(兼受領証)は上記送付先のお名前でお送りします

■入場券 3,000円 × 枚 合計 _____円

入場券を事前にお申し込みの方には、「EDUCOM教育フェア2018」の招待券(当日、お食事券と引換できます)をお送りします。お時間等の関係で昼食がご不要の方は、「不要」にチェックをお付けください。

	参加される方のお名前	ご所属 (学校・教育委員会等)	職名	参加区分 [※]	EDUCOM教育フェア招待券(お食事券)の希望
1				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
2				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
3				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
4				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要
5				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D <input type="checkbox"/> E	<input type="checkbox"/> 不要

➔ 「愛される学校づくり研究会」会員の紹介の場合は、会員の名前をご記入ください ()

※【参加区分】下記より該当する記号のにチェックをお付けください。

- A: 幼小中等学校の教職員 B: 大学等の教育関連の研究者 C: 教員を目指す大学(院)生 D: 教育委員会等の教育行政担当者
 E: 愛される学校づくり研究会会員および会員の紹介者

FAX. 03-6457-6755



ホームページからもお申込みいただけます
<http://planexus.co.jp/>

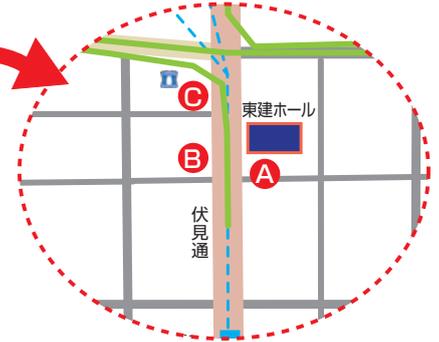
会場へのアクセス

東建ホール
(東建本社 丸の内ビル3F)

《お食事処のご案内》



- 名古屋市営地下鉄桜通線・鶴舞線
「丸の内」駅下車
- 1番出口 徒歩1分(階段のみ)
- 2番出口 徒歩5分(エスカレーターあり)
- 3番出口 徒歩7分(エスカレーターあり)
- 3番出口近く 徒歩8分(エレベーターあり)



- A コメダ珈琲 (珈琲、サンドイッチ)
- B かつや (丼もの)
- C 丸亀製麺 (うどん、てんぷら)
- CoCo壱番屋 (カレー) ★
- パスタデココ (パスタ) ★

東建ホール・丸の内 (東建本社 丸の内ビル3F)
名古屋市中区丸の内2-1-33 TEL.052-232-8070 (代表)

※会場内での飲食は禁止されています。ご昼食は近隣の飲食店をご利用いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
※★印の店舗はお食事券をご利用いただけます。

フォーラムに関するお問合せ

株式会社プラネクサス内 愛される学校づくり研究会事務局

jimukyoku@ai-school.jp

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-29-1 TEL: 03-6457-6753 FAX: 03-6457-6755

プラネクサスの教育書籍のご案内

<広告>

プラネクサスでは、「学校を元気にする」というコンセプトのもと、教育関連の書籍を出版しております。現在までに刊行された「学校力アップシリーズ」のラインナップをご紹介します。

最新刊のご紹介



- 著者: 岐阜聖徳学園大学・附属小学校 玉置崇 / 鈴木明裕 / 芳賀高洋 / 小林永児
- 定価: 1500円+税
- 発行: 2017年4月25日
- 体裁: A5変形 / 152頁
- 販売: 直販

小学校の算数授業をどう展開すべきか…。悩める若手教師に福音となるこの1冊。

本書は、岐阜聖徳学園大学附属小学校で行われたすぐれた算数授業を、3人の教育研究者が、それぞれ「算数・数学教育の視点」、「ICT 利活用の視点」、「授業力向上の視点」といった異なる視点から鋭く分析した書籍です。

ねらいを達成するための心惜いばかりの授業展開、教師と子どもとの心通うやり取り、子どもの発言の活かし方と広げ方、クラス全体の追求力の高め方、自然な ICT の利活用など、授業の秘訣が満載です。

若手教師のみならず、ベテランの先生にも十分役立つ内容となっています。



- ① 大西流・授業の見方 - 授業を見る目を高めるノウハウ 25
- ② 「学び合う学び」と学校づくり - 発信し続けた教育の本質
- ③ 玉置流・学校が元気になるICT活用術 - ICTは学校力向上ツール
- ④ 成功する校務の情報化ガイドブック【入門編】
- ⑤ 学校がよくわかる本Ⅰ【組織・しくみ編】
- ⑥ 学校がよくわかる本Ⅱ【学習内容編】
- ⑦ 学校がよくわかる本Ⅲ【授業編】
- ⑧ 授業名人が語るICT活用 - 愛される学校づくりフォーラムでの記録
- ⑨ 「愛される学校」の作り方 - 悩める校長とPTAを救う! 実践とノウハウ
- ⑩ 思いを届ける学校ホームページ - ホームページは学校経営の切り札
- ⑪ 自ら語れば学校はもっと愛される - 学校広報の視点から学校ホームページを考える
- ⑫ 深い学びが生まれる算数授業 - ベテランの授業を教育研究者が語る

学校力アップ
シリーズ
全12巻

お問合せ
ご注文

●「学校力アップシリーズ」は、フォーラム当日会場にてお求めいただけます。下記ホームページ及びAmazonからもご注文いただけます。
株式会社プラネクサス TEL. 03-6457-6753 / FAX. 03-6457-6755 / http://planexus.co.jp

同時
開催

EDUCOM教育フェア 2018

今年もまた、元気な学校づくりを応援する活動の一つとして「EDUCOM 教育フェア」を開催いたします。おかげさまで EDUCOM の校務支援システムは全国 280 の自治体、6,400 校以上で日々活用されるようになりました。これからも、もっと多くの学校、もっと多くの場面でご利用いただける製品・サービスを提供し、元気な学校づくりをお手伝いしてまいります。本教育フェアが皆様にとって、ICT を活用した元気な学校づくりについて考える機会となれば幸いです。(株式会社 EDUCOM 代表取締役 CEO 柳瀬貴夫)

学校用ホームページ作成支援 CMS・学校評価支援

スクール Web アシスト

ベシッ
ク
プラス
アドバ
ンス

簡単な操作でホームページの毎日更新を実現。地域に開かれた学校づくりを支援。子どもたちが中心に活動の様子を校内 Web で発信。主体的・協働学習をお手伝い。



地域へ



家庭で

保護者向けスマホ・タブレット用 C4th 連携アプリ

C4th Home & School

保護者に伝えたい情報を、安全に、簡単に発信できる専用システム。学校と家庭がもっとつながる、子どもを見守る環境づくり。

協働学習支援

教職員向けスマホ・タブレット用 C4th 連携アプリ

C4th ポータブル

「もっと安全、手軽に校務支援システムを利用したい」そんな先生の声にこたえるツール。校内のどこからでも、子どもを見守りながら、出欠情報や活動記録をその場で入力。



校内で



職員室で

統合型校務支援システム

EDUCOM マネージャー C4th

変わり続ける学校環境に合わせて、進化し続けるシステムを。専用アプリケーションとの連携でより広い情報の活用が可能になります。

お問い合わせは



EDUCOM
株式会社EDUCOM [エデュコム]



エデュコム
00777-81056

- 愛知本社
- 秋田オフィス
- 千葉オフィス
- 岡山オフィス
- 宮古島サテライト
- 東京本社
- 仙台オフィス
- 小田原オフィス
- 広島オフィス
- 東京ラボ
- 関西支社
- 長岡オフィス
- 福井オフィス
- 福岡オフィス
- 名古屋ラボ
- 札幌オフィス
- 北関東オフィス
- 京都オフィス
- 三河サテライト

<http://www.educom.co.jp>